



Hair Creation- 2025 SS

SPRING/SUMMER 2025



1.名称

UNDERSTAND(アンダースタンド)

「UNDERSTAND」とは、英語で「理解する」「把握する」などの意味で、若い世代の文化や多様性を理解し共感・共有しようという意味が込められている。

2.対象

ファッションや音楽(ユースカルチャー)に興味のある若い世代。“ユースカルチャー”とは、若者文化やミュージック、アートをイメージさせること。

3.提案の趣旨

若年層へ理容のイメージアップと理容師を増やすことを意識。

4.ヘアスタイルの特徴

- ①ロック&ユースカルチャーをテーマとした若い世代に好まれるヘアデザイン。
- ②スクリューパーマ(スクパー)を取り入れた新しいパーマスタイル。
- ③日本人の黒髪を活かすヘアカラー。
- ④男性・女性と春夏・秋冬の2つのヘアデザイン。



UNDERSTAND イメージ動画

<https://youtu.be/mp8LDr01TiE>

1 簡単なQRコードの読み取り方

最近のスマートフォンやタブレットでは、カメラをQRコードにかざすだけで自動的に読み取れます。

2 アプリをダウンロード

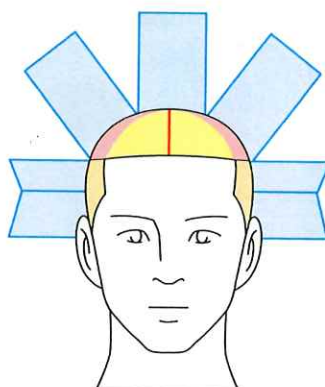
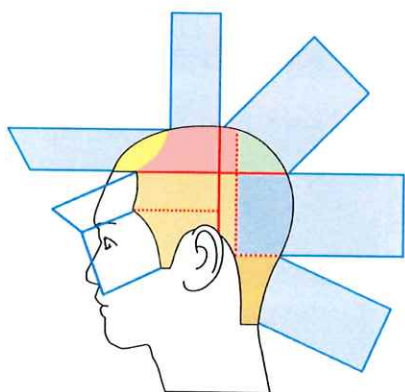
カメラで読み取れないときは、QRコードを読み取るアプリをインストールしましょう。機種に応じてPlayストアまたはAppストアにて「QRコードリーダー」と入力し検索→候補の中からお好みのアプリを選んでください。

3 QRコードを読み取る

QRコードを読み取る時、レンズのピントは寄せたり引いたりして調整し、しっかり合わせてください。



Men's Style



UNDERSTAND
技術プロセス動画
<https://youtu.be/548wEIR4Om0>



ブロッキング



1 トップをセンターで左右に分けます。



2 耳の付け根から直上にラインをとり、耳の付け根ラインの1/2とフロントコーナーを床平行なラインで結び、トップとボトムに分けます。



3 ホーシューパート上でクラウンをとり、センターの1/2から耳の付け根を結ぶラインでバックとネーブに分けます。

プライマリーシェーブ



1 サイドはZone1(下部)とZone2(上部)を分けるライン上で上下に分け、9センチの長さで床と水平に引き出しガイドを作ります。



2 上部 (Zone2) はガイドに合わせ、ダウンシステムでポイントカットします。



3 下部 (Zone1) はガイドに合わせ、リフティングでポイントカットします。



4 トップのカットはホーシューパートをガイドに横スライスをとり、エレベーションに引き出し、フラットカットしていきます。



5 コームを頭皮に当てることでエレベーションの角度が確認できます。



6 パネルでセンターラインまで切り進めます。センターラインまで切り進めるにしたがい引き出し角度は床面に平行に近くなっていきます。

プライマリーシェーブ



7 フロントはバイアススライスをとり、ダウンステムに引き出し、鼻先をガイドにフラットカットします。小さな三角形をとるようにしましょう。



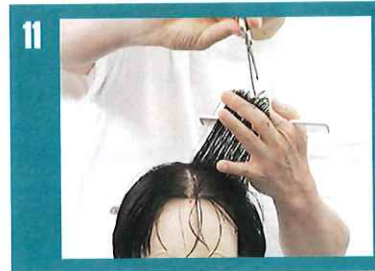
8 再度、バイアススライスをとり、ダウンステムに引き出し、ガイドに合わせてカットしていきます。片側3パネルでカットします。耳の付け根ラインまで切り進めます。



9 センターにガイドを作ります。フロントラインと耳の付け根ラインの1/2をガイドに、トップをセムレイヤーにポイントカットしていきます。



10 縦スライスをとり、センターをガイドに、トップをラウンド状でセムレイヤーにポイントカットしていきます。



11 センターサイドは45度アップステムに引き出し、センターをガイドにラウンド状でセムレイヤーにポイントカットしていきます。



12 クラウンは耳の付け根ライン上、センターの髪をガイドに、放射線状に縦スライスをとり、45度アップステムに引き出し、ポイントカットしていきます。



13 バックは縦スライスをとり、床平行に引き出し、クラウンをガイドにラウンド状でセムレイヤーにポイントカットしていきます。



14 ネーブは縦スライスをとり、30度ダウンステムに引き出し、バックをガイドにラウンド状でセムレイヤーにポイントカットしていきます。

セカンダリーシェーブ



1 セカンダリーシェーブ前のドライを行います。ハンドドライで7割くらいの水分を乾かした後、ラップドライで頭の丸みに合わせ、髪の方向性を整えます。

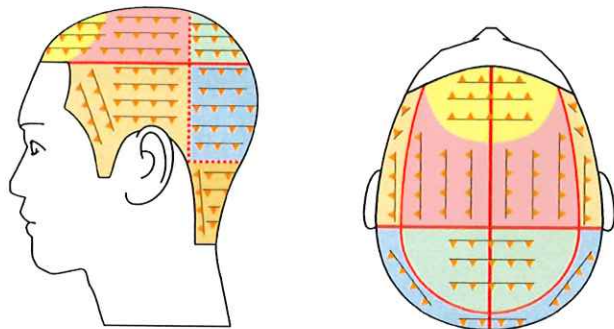


2 トップ、クラウン、サイドは、スタンダードセクションに取り、シンプルアングルでモデレートな位置までポイントカットを行います。



3 ネーブはスタンダードセクションに取り、パラレルアングルでモデレートな位置からスライドカットを行います。最後に毛先のニュアンスをカットレザラーで調整します。

ヘアカラー



撮影はレディスマネキンを使用しているため、解説もそれに合わせたものとなっていますが、展開図はメンズマネキンの場合となるため解説と合わない場合があります。ホイルの枚数はモデルに合わせて調整してください。



1 トップをセンターで左右に分けます。耳後部から直上にサイドラインをとりま。サイドラインの1/2とフロントコーナーを床平行なラインで結び、トップとボトムに分けます。ホーシューパート上でクラウンをとりま。センターの1/2から耳の付け根を結ぶラインでバックとネーブに分けます。正中線上、フロントラインとサイドライン間の1/2でフロントをとりま。



2 ネーブはネーブラインと並行にスライスをとり、3ミリのピッチ、7ミリの幅でウィーピングを行います。ホイルで丁寧に包み込んでいきます。続いて横スライスでウィーピングを行っていきます。3スライス、ホイルワークを行っていきます。



3 バックは横スライスでウィーピングを行っていきます。5スライスでホイルワークを行っていきます。



4 クラウンは横スライスでウィーピングを行っていきま。4スライスでホイルワークを行っていきます。



5 サイドはフェイスラインと並行にスライスをとり、3ミリのピッチ、7ミリの幅でウィーピングを行います。フェイスラインは2スライス程度、ホイルで丁寧に包み込んでいきます。



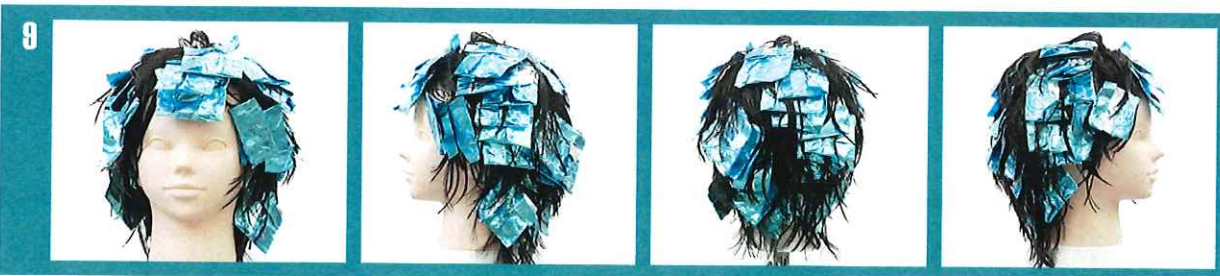
6 続いて横スライスでウィーピングを行っていきま。3スライスでホイルワークを行っていきま。



7 トップは横スライスでウィーピングを行っていきま。4スライスでホイルワークを行っていきま。

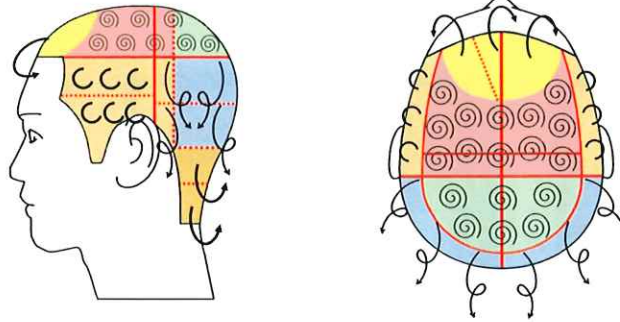


8 フロントはフェイスラインと並行にスライスをとり、3ミリのピッチ、7ミリの幅でウィーピングを行います。3スライス程度、ホイルで丁寧に包み込んでいきます。



9 ホイルワーク終了です。

パーマ



1 トップをセンターで左右に分けます。



2 耳の付け根から直上にラインをとります。耳の付け根ラインの1/2とフロントコーナーを床平行なラインで結び、トップとボトムに分けます。ホーシューパート上でクラウンをとります。



3 バックセンターの1/2から耳の付け根を結ぶラインでバックとネーブを分けます。



4 クリームタイプのパーマ1剤を塗布します。ネーブは上下に分け、下部と上部はそれぞれ1スライスで、12ミリのロッドを使用し、外巻きでワインディングをします。



5 バックは上下に分け、下部は真ん中と左右に3分割し、13ミリのロッドでフロント側から、フォワード、リバース、フォワードの順でスパイラルにワインディングをします。上部も同様に3分割し、13ミリのロッドでフロント側から、リバース、フォワード、リバースの順で使用し、交互にスパイラルにワインディングをします。



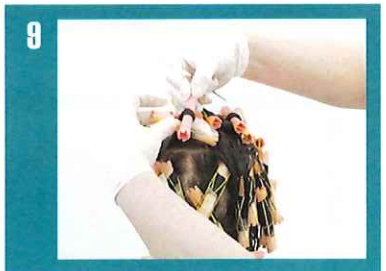
6 サイドは上下に分け、下部上部ともにピンパーマで行います。フラットカールでリバース方向にワインディングしていきます。



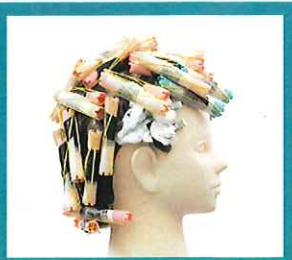
7 フロントは、正中線上、フロントラインと耳の付け根ライン間の1/2でフロントとトップに分けます。フロントは73パートをとり、15ミリのロッドで内巻きにワインディングをします。



8 トップは13ミリと12ミリのロッドを使用し、スクリューパーマ(スクバー)を行っていきます。毛先には13ミリ、中間・根元には12ミリを使用します。



9 クラウンもトップと同様に13ミリと12ミリのロッドを使用し、スクリューパーマを行っていきます。毛先には13ミリ、中間・根元には12ミリを使用します。



10 ワインディング終了です。

ヘアスタイリング



1
タオルドライ後、ソフトタイプのフォームを塗布し全体に揉み込みまんべんなく馴染ませていきます。



2
ドライヤーを使用し乾かしていきます。デフューザーを使用することでウェーブを崩さずにドライが可能です。



3
バームを使用しうるおい感を与えながらディテールを整えていきます。

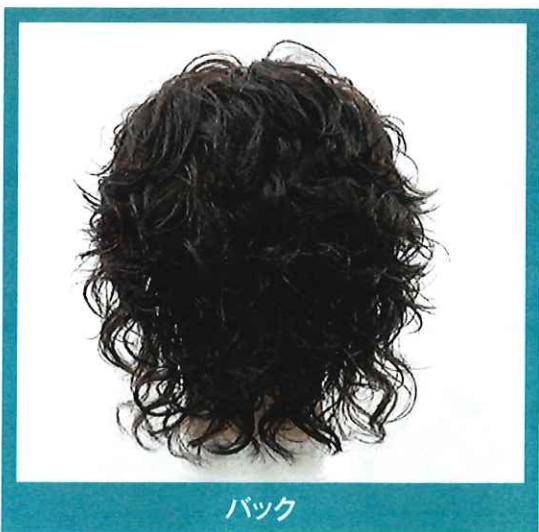
仕上がり



フロント



左サイド

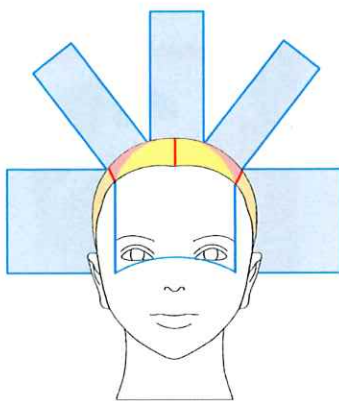
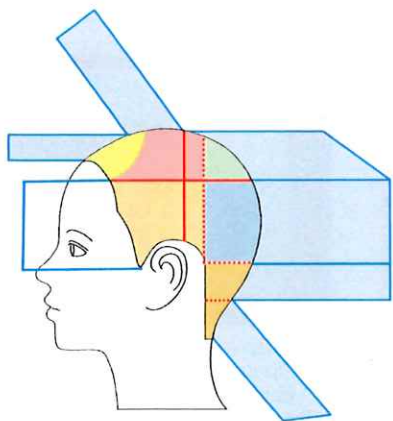


バック



右サイド

Ladie's Style



UNDERSTAND
技術プロセス動画
https://youtu.be/u_MRF2hzlks



ブロッキング



1 トップをセンターで左右に分けます。



2 耳の付け根から直上にラインをとります。耳の付け根ラインの1/2とフロントコーナーを床平行なラインで結び、トップとボトムに分けます。



3 ホーシューパート上でクラウンをとります。センターの1/2から耳の付け根を結ぶラインでバックとネープを分けます。

プライマリーシェーブ



1 サイドは縦スライスで4つに分け、フェイスラインの髪を縦スライスで正面に床平行に引き出し、9センチの長さでセムレイヤーにフラットカットしガイドを作ります。



2 耳の付け根ラインにむけて、徐々にパネルの引き出す角度を後方に開いてフラットカットしていきます。耳の付け根ラインは90度です。



3 バックは4パネルに分け、サイドをガイドに、縦スライスで床平行に引き出し、セムレイヤーにフラットカットしていきます。



4 徐々に引き出す角度を開いて、フラットカットしていきます。最後の4パネル目のカットは、縦スライスで床平行に後方0度に引き出し、フラットカットします。



5 ネープはバックと同様に、縦スライスで床平行に引き出し、バックをガイドにセムレイヤーに、フラットカットしていきます。



6 横スライスをとり、真下に引き出し、肩につく長さでワンレングスでスクエアにポイントカットしていきます。

プライマリーシェーブ



7 フロントはバイアススライスをとり、ダウンステムに引き出し、眉間をガイドにフラットカットします。小さな三角形をとるようにしましょう。



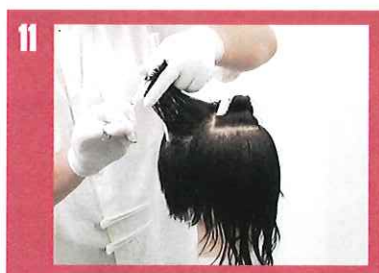
8 再度、バイアススライスをとり、ダウンステムに引き出し、ガイドに合わせてフロントをカットします。片側3パネルで耳の付け根ラインまで切り進めます。



9 フロントにレイヤーを入れるため、縦スライスをとり、床平行に引きだしてグラデーションの角をカットします。放射線状にワンパネルダイレクションで、耳の付け根ラインまで切り進めます。



10 再度縦スライスで、45度アップステムに引き出しポイントカットします。



11 放射線状にスライスをとり、ワンパネルダイレクションで、耳の付け根ラインまでポイントカットで切り進めます。



12 クラウンは、耳の付け根ライン上の正中線上の髪とホーシューバート上の髪を結ぶ45度のラインをガイドとします。



13 放射線状に縦スライスをとり、床平行に引き出しポイントカットします。

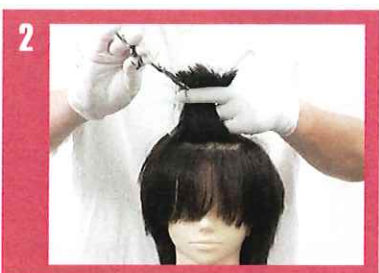


14 サイドからバックにむけて、ボトムと同様の引き出す角度で引き出しポイントカットしていきます。

セカンダリーシェーブ



1 セカンダリーシェーブ前のドライを行います。ハンドドライで7割くらいの水分を乾かした後、ラッドドライで頭の丸みに合わせ、髪の方角性を整えます。

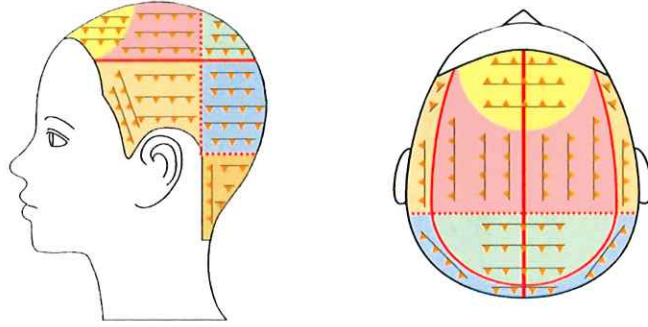


2 トップ、クラウン、サイドは、スタンダードセクションに取り、シンプルアングルでモデレートな位置までポイントカットを行います。



3 ネーブはスタンダードセクションに取り、パラレルアングルでモデレートな位置からスライドカットを行います。最後にカッターで毛先のニュアンスを調整します。

ヘアカラー



1
トップをセンターで左右に分けます。耳後部から直上にサイドラインをとり、サイドラインの1/2とフロントコーナーを床平行なラインで結び、トップとボトムに分けます。ホーシューパート上でクラウンをとり、バックセンターの1/2から耳後部を結ぶラインでバックとネーブに分けます。正中線上、フロントラインとサイドライン間の1/2でフロントをとります。



2
ネーブラインと並行にスライスをとり、3ミリのピッチ、7ミリの幅でウィーピングを行います。ホイルで丁寧に包み込んでいきます。



3
続いて横スライスでウィーピングを行います。先ほどと同様に3スライスでホイルワークを行っていきます。



4
バックは横スライスでウィーピングを行います。5スライスでホイルワークを行っていきます。



5
クラウンは横スライスでウィーピングを行います。クラウンは4スライスでホイルワークを行っていきます。



6
フェイスラインと並行にスライスをとり、3ミリのピッチ、7ミリの幅でウィーピングを行います。フェイスラインは2スライス程度、ホイルで丁寧に包み込んでいきます。



7
続いて横スライスでウィーピングを行います。3スライスでホイルワークを行っていきます。



8
トップは横スライスでウィーピングを行います。4スライスでホイルワークを行っていきます。

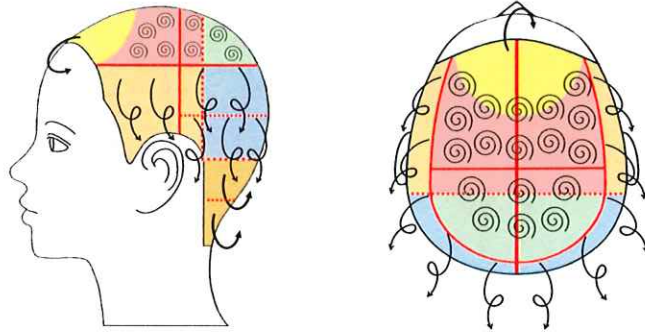


9
フロントはフェイスラインと並行にスライスをとり、3ミリのピッチ、7ミリの幅でウィーピングを行います。3スライス程度、ホイルで丁寧に包み込んでいきます。



10
ホイルワーク終了です。

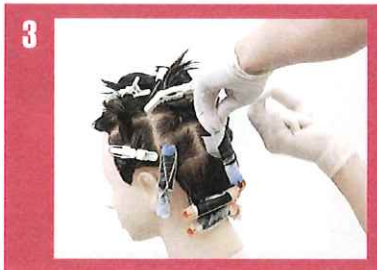
パーマ



1 トップをセンターで左右に分けます。耳の付け根から直上にラインをとりま。耳の付け根ラインの1/2とフロントコーナーを床平行なラインで結び、トップとボトムに分けます。ホーシューパート上でクラウンをとりま。バックセンターの1/2から耳の付け根を結ぶラインでバックとネーブに分けます。



2 クリームタイプのパーマ1剤を塗布しま。ネーブは上下に分け、下部と上部はそれぞれ1スライスで、13ミリのロッドを使用し、外巻きでワインディングをしていきます。



3 バックは上下に分け、下部は左右に2分割し、15ミリのロッドを使用して、フロント側はフォワード方向、バック側はリバース方向にスパイラルにワインディングをしていきます。



4 バック上部は16ミリの円すいロッドを使用し、下部と同じ方向にスパイラルにワインディングをしていきます。



5 サイドは左右に2分割し、13ミリのロッドを使用して、それぞれリバース方向にスパイラルにワインディングをしていきます。



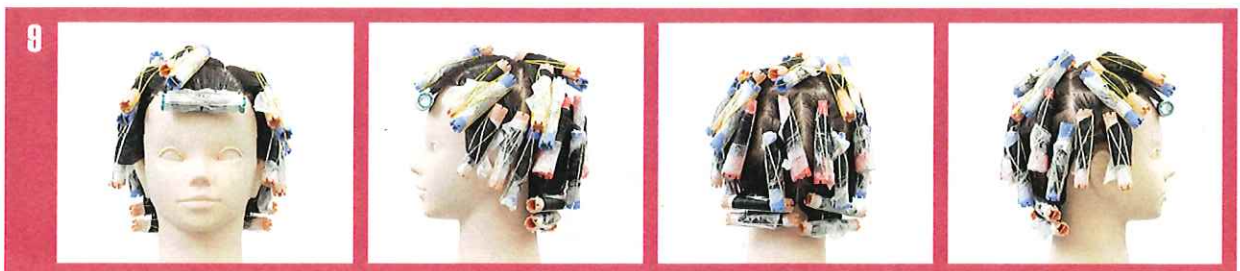
6 正中線上、フロントラインと耳の付け根ラインの1/2でフロントをとりま。17ミリのロッドで内巻きにワインディングしま。



7 トップは14ミリと13ミリのロッドを使用し、スクリューパーマ(スクーパー)を行っていきます。毛先には14ミリ、中間・根元には13ミリを使用しま。



8 クラウンもトップと同様に14ミリと13ミリのロッドを使用し、スクリューパーマを行っていきます。毛先には14ミリ、中間・根元には13ミリを使用しま。



9 ワインディング終了です。

ヘアスタイリング



タオルドライ後、ソフトタイプのフォームを塗布し全体に揉み込みまんべんなく馴染ませていきます。

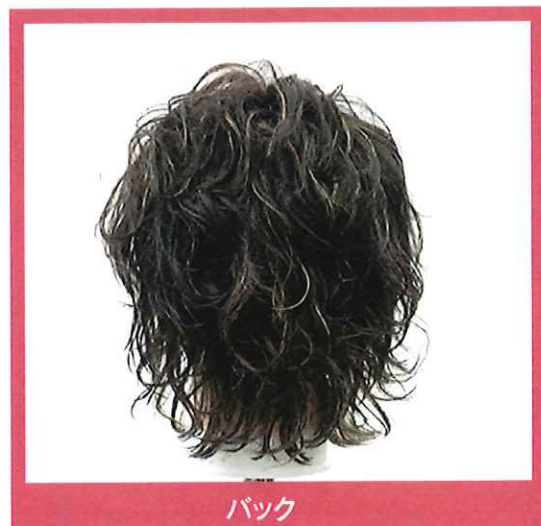


ドライヤーを使用し乾かしていきます。ディフューザーを使用することでウェーブを崩さずにドライが可能です。



バームを使用しうるおい感を与えながらディテールを整えていきます。

仕上がり





Kracie
Professional

L'ORÉAL
PROFESSIONAL PRODUCTS



Lebel
ALL YOUR OWN

Jewels



FIOLE

T E X O S[®]